



年 報

(令和 3 年度)



2022. 3 月 作成

静岡県乳幼児聴覚支援センター

静岡県乳幼児聴覚支援センター (2021年度の主な事業)

開催日時	事業内容	開催場所	P
令和3年度			
4月8日(木)	月例運営委員会(年9回開催)	静岡県立総合病院 先端医学棟 5階 講義室	1
5月25日(火)	補聴援助システム貸与児の在籍する 園・学校訪問 (8か所)		3
5月26日(水)			
6月1日(火)			
6月15日(火)			
11月8日(月)			
11月9日(火)			
12月10日(金)			
令和4年			
2月7日(月)	浜松市高台幼稚園		
2月14日(月)	静岡大学教育学部附属 静岡小学校		
6月10日(木)	静岡県聴覚障害児を考える医療と保健 福祉と教育の会 (年2回開催)	静岡県立総合病院	4
12月16日(木)			
7月1日(木)	浜松きこえの相談室 開設	浜松医科大学附属病院 5階 沼津市立病院耳鼻咽喉科内	6
8月3日(火)	沼津きこえの相談室 開設		
7月8日(木)	難聴児が通う難聴特別支援教室および通 級指導教室への巡回訪問指導(9か所)		9
7月19日(木)			
7月30日(金)			
10月8日(金)			
10月19日(火)			
10月27日(水)			
11月5日(金)			
11月10日(水)			
12月1日(水)			
8月20日(金)			
8月2日(月)	市町保健師研修会(4か所)	静岡県島田土木事務所 *中止	12
9月10日(月)			
10月25日(月)			
11月16日(火)			

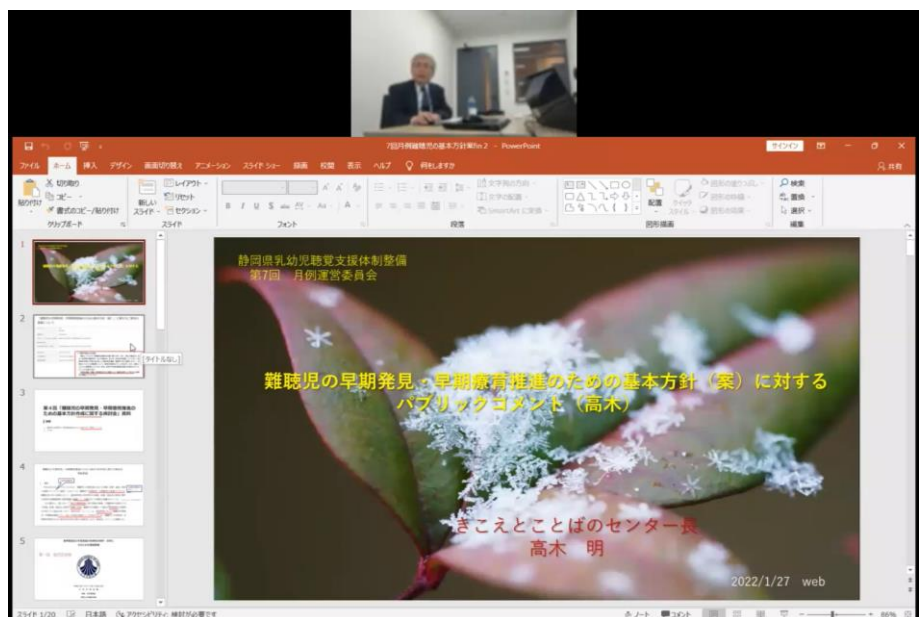
開催日時	事業内容	開催場所	P
令和3年度			
8月6日(金)	難聴児家族交流会「きこえのお部屋」開催 浜松きこえのお部屋	(年9回) 浜松市あいホール	14
8月17日(火)	藤枝きこえのお部屋(オンライン配信)	きこえとことばのセンター	
10月17日(日)	沼津きこえのお部屋	沼津市サンウェルぬまづ	
11月20日(土)	浜松きこえのお部屋	浜松市あいホール	
12月24日(金)	浜松きこえのお部屋	浜松市東部健康保健センター	
令和4年			
1月15日(土)	沼津きこえのお部屋	沼津市立病院 講義室	
2月19日(土)	浜松きこえのお部屋(オンライン配信)	きこえとことばのセンター	
3月12日(土)	沼津きこえのお部屋	沼津市立病院 講義室	
3月25日(金)	浜松きこえのお部屋	浜松市あいホール	
8月28日(土)	第16回静岡県乳幼児難聴研究会 オンラインにて開催	静岡県立総合病院ほか	16
9月1日(水)	静岡県乳幼児聴覚支援協議会 オンラインにて開催	静岡県立総合病院 先端医学棟 5階打合せ室	17
10月7日(木)	聴覚障害児支援対策委員会(年2回開催)	静岡県立総合病院	18
令和4年 1月27日(木)	オンラインにて開催	先端医学棟 5階講義室	
10月20日(水)	厚生労働省 視察	静岡県立総合病院	19
10月22日(金)	岐阜県 視察	先端医学棟 5階	
11月3日(水)	新生児聴覚検査機器「精度管理研修会」 オンラインにて開催	静岡県立総合病院 つつじホール	20
12月18日(土)	難聴児が通う聴覚特別支援学級および 通級指導教室教員担当者向け研修会 西部地区(浜松)	浜松市あいホール	7
令和4年 1月22日(土)	東部地区(沼津) オンラインにて開催		
2月5日(土)	中部地区(静岡) オンラインにて開催		



月例運営委員会

開催日	議 事 内 容
令和3年 4月8日	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新年度事業の運営方針について ・ 令和3年度難聴児等支援関連事業 予算報告 ・ 沼津・浜松きこえの相談室 業務内容について ・ 通常校に在籍する難聴児の実態調査について ～教育委員会訪問の報告 「主な参加者」 日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会 耳鼻科医師（4名） 静岡県教育委員会（2名）、静岡県健康福祉部（4名） 静岡県乳幼児聴覚支援センター（3名）
5月27日	第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成育基本法と社会健康医学について ・ 通常校に在籍する難聴児の調査およびアンケート作成について ・ 新生児聴覚スクリーニング検査アプリ開発会議の経過報告 その他、新スク改訂マニュアル、年報の配布
7月29日	第3回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町別新生児聴覚スクリーニング検査結果について ・ 通常校に在籍する難聴児の実態調査について ・ 浜松きこえの相談室およびきこえのお部屋の紹介 ・ 難聴児が通う通級指導教室巡回訪問事業について
9月16日 オンライン	第4回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県乳幼児聴覚支援協議会の報告 ・ 新生児聴覚スクリーニング検査アプリ開発について
10月7日	第5回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の月例運営委員会での質問事項について ・ 聴覚障害児の就学支援委員会構成と判定までの流れ ・ 沼津きこえの相談室 開設報告
12月2日	第6回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省視察受け入れ報告 ・ 就学支援委員会での医療担当者の意見を反映する方法
令和4年 1月27日	第7回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省パブリックコメント報告 ・ 就学支援委員会についての市町別調査結果

開催日	議 事 内 容	
2月10日	第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・市町就学支援委員会での聴覚障害における医学的所見（案）導入の要請について ・「難聴児の早期発見・早期療育推進のための基本方針作成に関する検討会」
3月10日	第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会への「聴覚障害に関するアンケート結果」報告と来年度における耳鼻咽喉科医による調査表の運用などの取り組みについて ・令和3年度事業活動への所感 ・その他連絡



2022.1.27
 新型コロナウイルス感染拡大により、まん延防止等重点措置を受け、オンラインミーティングを開催

補聴援助システム貸与児の在籍園・学校訪問

静岡県では平成24年から学習支援事業として、難聴児へ補聴援助システムを貸与し、貸与児童の在籍する園・学校訪問を行っています。訪問時には静岡県乳幼児聴覚支援センタースタッフだけでなく、静岡県立聴覚特別支援学校地域支援部 教員が同行しています。

補聴援助システムを使用した授業を参観し、機器の活用状況を把握したり、その他に必要な合理的配慮などについて、担当教員と話し合いを行ったりしています。

令和3年度は下記のような日程で訪問しました。

訪問日	訪問場所	学年	貸与児童の聴力
5月25日（火）	富士市立大淵第一小学校	3年	両側 軽・中等度難聴
5月26日（水）	静岡市立長田東小学校	1年	両側 軽・中等度難聴
6月1日（火）	駿東郡長泉町立長泉小学校	2年	両側 軽・中等度難聴
6月15日（火）	富士市立広見小学校	1年	両側 軽・中等度難聴
11月8日（月）	浜松市 ひくまこども園	年長	両側 軽・中等度難聴
11月9日（火）	菊川市立加茂小学校	3年	両側 軽・中等度難聴
12月10日（金）	静岡市立清水不二見小学校	3年	両側 軽・中等度難聴
2月7日（月）	浜松市 高台幼稚園	年長	両側 軽・中等度難聴
2月14日（月）	静岡大学教育学部附属静岡小学校	1年	両側 軽度難聴

在籍園・校訪問の様子



<きこえとことばのセンターホームページ> <https://shizuoka-kikoosupport.jp/>



静岡県聴覚障害児を考える医療と保健福祉と教育の会

令和3年度 第1回 6月10日(木)

(1) 医療からの報告

- ・「日本の成育医療と世界の難聴支援の動向」について

静岡県きこえとことばのセンター センター長 高木 明

- ・「通常校に在籍する難聴児の調査について」

日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会 福祉医療委員会委員長 植田 宏

(2) 行政からの提案・報告

- ・「令和3年度難聴児等支援関連事業 予算報告」

静岡県健康福祉部こども家庭課 母子保健班

- ・「文部科学省 教育相談充実事業 言語聴覚士派遣内容の報告」について

静岡県教育委員会 特別支援教育課指導班 班長 和久田 欣慈

文部科学省/静岡県教育委員会指定事業 乳幼児教育相談マネージャー 鈴木 信行

- ・「補聴援助システム貸与事業について」報告

静岡県立総合病院きこえとことばのセンター 言語聴覚士 伊藤 嘉彦

(3) 教育からの報告

- ・静岡県立聴覚特別支援学校からの報告

静岡県立聴覚特別支援学校 教育相談 教諭



会議風景



発表者

令和3年度 第2回 12月16日(木)

- ・医療からの報告前に、NTT より
「パーソナルちいくえほん」の紹介



(1) 医療からの報告

- ・厚労省視察受け入れ報告 静岡県きこえとことばのセンター センター長 高木 明
- ・国内における軽度・中等度難聴児への補聴器購入費助成制度について
静岡県立総合病院頭頸部耳鼻咽喉科 言語聴覚士 大和田 千尋

(2) 行政からの提案・報告

- ・オンラインセミナー「小児の難聴と人工内耳」(8/20開催)の報告
静岡県乳幼児聴覚支援センター 言語聴覚士 橋本 全美
- ・浜松、沼津きこえの相談室開設について
静岡県乳幼児聴覚支援センター 言語聴覚士 増原 智香
滝本 智子
- ・難聴児が通う聴覚特別支援学級および通級指導教室への巡回訪問について
静岡県きこえとことばのセンター 研究補助員 飯塚 知之

(3) 教育からの報告

- ・普通小中学校に在籍する難聴児への支援 静岡県立聴覚特別支援学校 教育相談 教諭



発表者



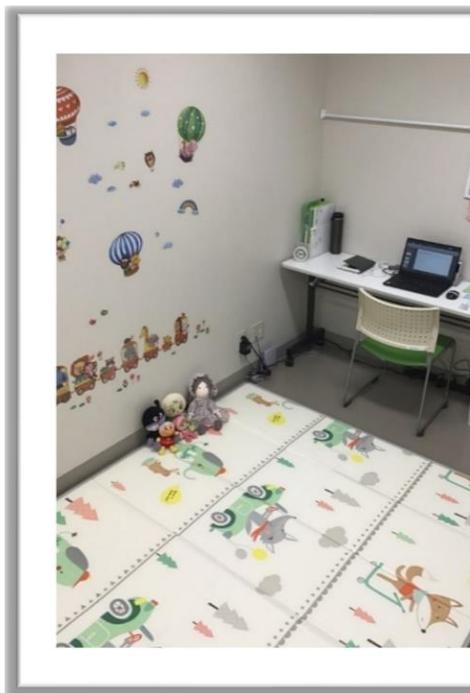
閉会後のフリートーク

サテライト「きこえの相談室」 開設

令和4年7月1日(木)

「浜松きこえの相談室」

浜松医科大学医学部附属病院 5階に開設



静岡県乳幼児聴覚支援センター

浜松 きこえの相談室のご案内

お子さんの聞こえ(聴覚)を心配されている、お父さんお母さん方を支援する県の行政機関として平成22年4月に静岡県乳幼児聴覚支援センターが開設され、令和3年7月に浜松医科大学附属病院浜松きこえの相談室が開設されました。

新生児聴覚スクリーニング検査を受け、要再検査(refer)といわれた場合、再検査についてのお問い合わせや、ご心配ごとの相談などを支援員がお受けし、市町や関係機関と連携しサポートいたします。

なお、個人情報の守秘義務は厳守いたします。

【このような相談にお答えします】

- ① お子さんの聞こえ(聴覚)について心配なこと
- ② 再検査(refer)についての問い合わせ
- ③ 軽・中等度難聴児補聴システムの貸与
…など

【ご利用方法】

相談日：毎週月～金曜日

時 間：10時～15時

費 用：無料

*お願い

来室される際は下記へご連絡の上、

お越しください。



【お問い合わせ先】

〒431-3192 浜松市東区半田山1-20-1 外来棟5階

浜松きこえの相談室 (静岡県乳幼児聴覚支援センター) →裏面地図記載

TEL 053(431)2520 直通

FAX 053(431)2521 直通

E-mail hamamatu.nyuyoji.aso@gmail.com

メールでのお問い合わせは随時行います

令和4年8月3日(火)

「沼津きこえの相談室」

沼津市立病院耳鼻咽喉科内に開設

静岡県乳幼児聴覚支援センター

沼津きこえの相談室のご案内

お子さんの聞こえ(聴覚)を心配されている、お父さんお母さん方を支援する県の行政機関として平成22年4月に静岡県乳幼児聴覚支援センターが開設され、令和3年8月に分室として沼津きこえの相談室が開設されました。

新生児聴覚スクリーニング検査を受け、要再検査(refer)といわれた場合、再検査についてのお問い合わせやご心配ごとの相談などを支援員(言語聴覚士)がお受けし、市町や関係機関と連携しサポートいたします。

なお、個人情報の守秘義務は厳守いたします。

【このような相談にお答えします】

- ① お子さんの聞こえ(聴覚)について心配なこと
- ② 再検査(refer)についての問い合わせ
…など

【ご利用方法】

相談日：毎週火・水曜日(9時30分～16時30分)
毎週木曜日(9時30分～12時30分)

費 用：無料

*お願い

来室される際は下記へご連絡の上、お越しください。

産科機関からご紹介受けた方は、火曜日・水曜日・木曜日(午前中)の診察後、支援員(言語聴覚士)がお声掛けさせていただきます。
ご紹介がなかった方でもご相談にのりますので、看護師さんにお声がけください。

【お問い合わせ先】

〒410-0302 沼津市東根路字春ノ木550番地 沼津市立病院 耳鼻咽喉科内
沼津きこえの相談室 (静岡県乳幼児聴覚支援センター)

TEL: 090-7358-2113

E-mail: numadu.nyuyoji.aso@gmail.com

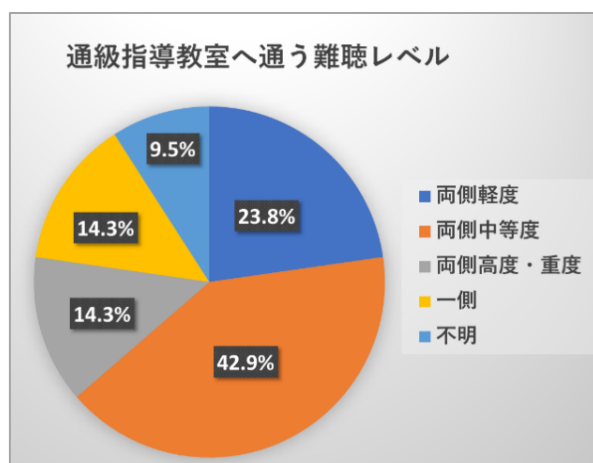
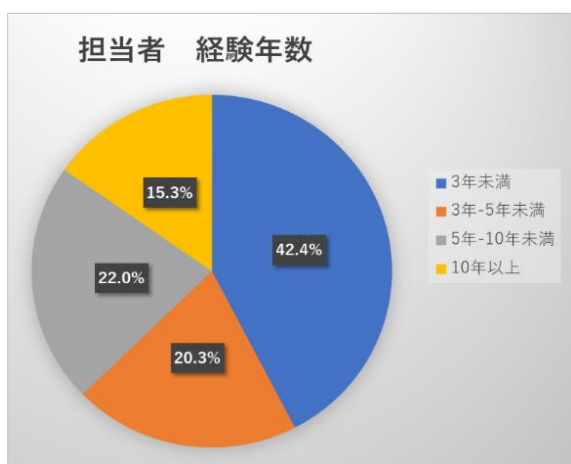


聴覚障害児の支援方法に係る研修の実施

令和3年度は厚生労働省による『聴覚障害児支援中核機能モデル事業』の中で「5. 聴覚障害児支援に係る研修の実施」項目が加えられ、1「難聴児が通う聴覚特別支援学校および通級指導教室担当者向け研修会」、2「難聴特別支援教室や言語通級指導教室へ巡回訪問指導」、3「難聴児が在籍する園・学校の担当教員向けのオンライン研修会」の3つの事業を下記のとおり行いました。

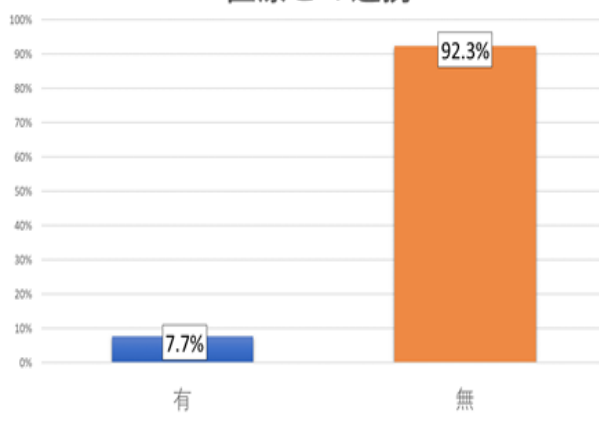
1, 難聴児が通う聴覚特別支援学校および通級指導教室担当者向け研修会

【開催経緯】令和2年4月から県委託を受けた静岡県乳幼児聴覚支援センターでは「聴覚障害児支援対策委員会」を設置し、静岡県教育委員会や静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会と共に難聴児支援の課題についての協議を行いました。その協議の中で「通常学級に通う難聴児が県内に何人在籍しているか」が課題に挙げられ、静岡県教育委員会義務教育課も把握することができないということで、当センターが令和2年12月に県内の難聴・言語障害学級に通う難聴児が何人いるか調査をしました。その結果をグラフ化して示しました。

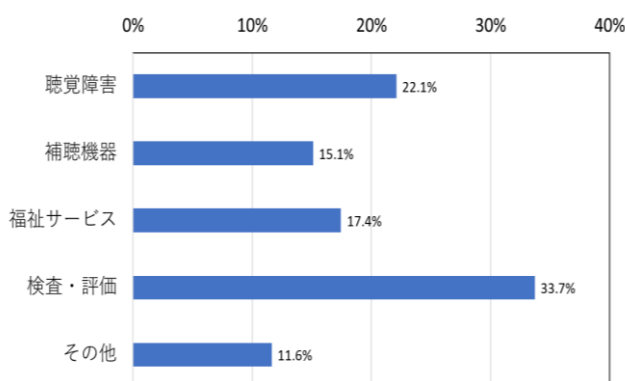


また、通級する難聴児について「医療との連携がない」との回答が92%を占め、希望する研修会の内容が「聴覚障害」「検査・評価」についての回答が多かったため、精密聴力検査機関の耳鼻咽喉科医師による講演会を企画しました。

医療との連携



通級指導教室担当者が希望する研修内容

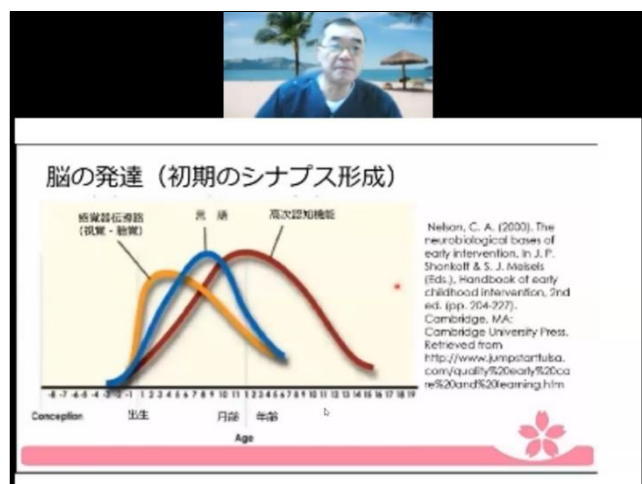


静岡県東部、中部、西部の精密聴力検査機関耳鼻咽喉科医師の「聴覚障害」講演会を下記のとおり行いました。

地域	開催日	講師／参加者
西部	令和3年12月18日(土)	浜松医科大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 喜多 淳哉 医師
		浜松市ことばの教室、袋井市難聴学級・ことばの教室、 浜松聴覚特別支援学校 他 13名
東部	令和4年1月22日(土)	沼津市立総合病院 耳鼻咽喉科 佐々木 豊 医師
		下田市幼児ことばの教室、三島市ことばの教室、 富士宮市立難聴学級 沼津聴覚特別支援学校 他 13名
中部	令和4年2月5日(土)	静岡県立総合病院 耳鼻咽喉科 高木 明 医師
		静岡市ことばの教室・幼児言語教室 牧之原市ことばの教室・ 幼児ことばの教室 静岡聴覚特別支援学校 他 20名



浜松医科大学医学部附属病院耳鼻咽喉科
喜多 淳哉 医師



沼津市立病院耳鼻咽喉科 佐々木 豊 医師



静岡県立総合病院きこえとことばのセンター 高木 明 医師

2, 難聴特別支援教室や言語通級指導教室への巡回訪問指導

2つ目の事業として、難聴特別支援教室や言語通級指導教室への巡回訪問指導の依頼を受けた教室へ、静岡県立総合病院きこえとことばのセンター研究補助員（元 聴覚特別支援学校教員）と静岡県乳幼児聴覚支援センター言語聴覚士が主に巡回訪問を行いました。必要に応じて、難聴児が関わる聴覚特別支援学校や精査機関の言語聴覚士にも協力を要請しました。

この訪問を通じて、精密聴力検査機関や聴覚特別支援学校の教育相談を紹介し、指導担当者からは効果的な指導についてなど様々な質問を受けました。

この巡回訪問事業については事後アンケートでも「この教室で指導している難聴児の特性に合わせた助言をもらえて参考になった」「よく理解ができた」という意見や、「難聴児を指導していくうえでの具体的な内容を知ることができ、今後もっと勉強していきたい」と意欲的な感想がありました。

巡回訪問を実施した教室

所 属	教室名	難聴児	巡回訪問した期日、担当者
御殿場市立朝日小学校	ことばの教室	3年（両側中等度）	7月 8日（木）研究補助員、言語聴覚士
静岡市立川原小学校	ことばの教室	1年（両側中等度）	7月19日（月）研究補助員、言語聴覚士
袋井市立高南小学校	ことばの教室、 難聴学級	1年生、5年生	7月30日（金）教諭、研究補助員 言語聴覚士、
牧之原市立相良小学校	幼児ことばの教室	年中（両側中等度） 年中（両側軽度）	10月 8日（金）研究補助員、言語聴覚士
掛川市立東中学校	難聴学級	1年生（両側重度）	10月19日（水）研究補助員、言語聴覚士
富士市立原田幼稚園	ことばの教室	年長（両側重度）	10月27日（水）研究補助員、言語聴覚士
富士宮市立東小学校	難聴通級指導教室	5年（両側高度）	11月10日（水）研究補助員、言語聴覚士
富士市立富士第一小学校	ことばの教室	2年（両側中等度）	11月12日（金）研究補助員、言語聴覚士
静岡市特別支援教育 センター内	幼児言語教室	年長（両側中等度）	12月 1日（水）研究補助員、言語聴覚士



個別指導を参観



研修会



個別指導の様子



研修会

【まとめ】

この訪問事業を通して、県内の難聴児支援をさらに推進するために、下記のように纏めてみました。

1 医療機関と教育機関の連携

- ・医療と教育が連携し情報共有するために「きこえの手帳」の活用が有効であること。
- ・精密聴力検査機関から難聴児の保護者へ「きこえの手帳」を渡す際には、療育や教育機関へ活用していただくよう伝えていただく。

2 聴覚特別支援学校 地域支援部との連携

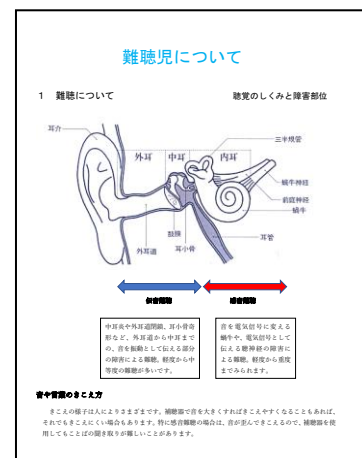
難聴児に対する合理的配慮、補聴援助システムの活用、難聴児の言語力の向上、障害認識等については今後、最寄りの聴覚特別支援学校の地域支援部と密に連携を取り、研修会などに参加し、助言を受けながら難聴児の指導に活用していただく。

3 教育機関の専門性の向上

指導経験年数が浅い聴覚特別支援学校教員をはじめ通級指導教室で、難聴児を担当する指導の育成が急務であり、今後は県教育委員会や市町教育委員会が率先して、難聴児指導の基本的な知識や難聴理解、在籍校への支援方法などの研修会を設けていただく。



活用を促した「きこえの手帳」



説明に使ったパンフレット

3, 難聴児が在籍する園・学校の担当者向けオンラインセミナー

令和3年8月20日（金）


人工内耳がどんなものであるか、つけているお子さんはどんな聴こえか、どんなことばの状態なのか、人工内耳装用児が通う施設、学校や園の先生向けに、「小児難聴と人工内耳」オンラインセミナーを開催し基本的な内容をお伝えしました。

【当日のプログラム】

1. 難聴と人工内耳
2. 人工内耳装用児の育ちときこえ
3. 体験発表～幼少期に人工内耳をつけた小学生、中学生、高校生、社会人

静岡県乳幼児聴覚支援センター主催
オンラインセミナー「小児の難聴と人工内耳」
 令和3年8月20日（金）14:00～15:30予定
 人工内耳は、高度の難聴があり、補聴器では十分にきこえない方がつける補聴機器です。人工内耳がどんなものであるのか、つけているお子さんはどんなきこえ、どんなことばの状態なのか、人工内耳装用児が通う施設、学校や園の先生向けに、基礎的な内容をお伝えします。ZOOM ウェビナーを使用したオンラインセミナーです。多数のご参加をお待ちしております。

プログラム
 14:00～14:30 「難聴と人工内耳」
 静岡県乳幼児聴覚支援センター長
 静岡県立総合病院 きこえことばのセンター長 高木 明
 静岡県立総合病院 耳鼻咽喉科医師 松原 彩
 14:30～14:45 「人工内耳装用児の育ちときこえ」
 静岡県立総合病院 耳鼻咽喉科 言語聴覚士 上田裕子
 14:50～ 体験発表
 幼小児期に人工内耳をつけた、小学生・中学生
 高校生・社会人の方 4名から、人工内耳のこと、きこえについての思いや体験についてお話しいただきます。



教育関係者が48名、言語聴覚士17名、助産師・保健師・行政17名、計82名が参加されました。

スムーズな音声言語獲得には **臨界期** がある。

↓

きこえないと話せない

難聴の診断後、生後6ヶ月までの聴覚補償が理想的
人工内耳、補聴器

病院で待つ医療から、社会へ
(医療、保健福祉、教育の連携)

社会健康医学

人工内耳のしくみ

体外部
 内部に音を伝えるコイル


体内部
 体内機

音の高い低いを細かく分類

マイク

電極

日本コクレア社ホームページより



耳鼻科医師・言語聴覚士などの発表への感想

多く寄せられた感想（数）

- 1, 人工内耳について詳細に学べた(18)
- 2, 聴覚障害を知る機会になった(14)
- 3, 早期発見から早期治療の大切さ(6)

内容の理解について

- 1, わかりやすい内容だった
- 2, 詳細なデータや情報がよかった
- 3, 人工内耳の適切な装用時期と言語発達の関係が理解できた

大変勉強になりました

人工内耳装用児がいる学校の教師にとって、必須のセミナーでした

もっと多くの人に知ってもらいたい

市町保健師研修会

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度に実施できなかった圏域で、保健師向けの研修会を対面式で実施しました。9月は緊急事態宣言下になり、賀茂郡圏域では同じ内容でDVDを作成し、各保健センターに送付しました。

圏域、市	期日、会場	講演者	参加者数
富士圏域	令和3年11月16日(火) 静岡県富士総合庁舎	高木 明 医師 (静岡県立総合病院 耳鼻咽喉科)	16名
中部圏域	令和3年8月2日(月) 静岡県島田土木事務所	高木 明 医師 (静岡県立総合病院 耳鼻咽喉科)	12名
浜松市	令和3年10月25日(月) 浜松市口腔保健医療センター	喜寿 淳哉 医師 (浜松医科大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科)	23名
賀茂圏域	令和3年9月	高木 明医師 (静岡県立総合病院 耳鼻咽喉科)	圏域内各市町へ DVD送付

【内 容】

- 1 「難聴児の早期発見・早期介入の意義」 ～ 各精密聴力検査機関 医師
- 2 「新スク未受検児への対応について」 ～ 乳幼児聴覚支援センター 言語聴覚士
- 3 「1歳6か月児健康診査における聴覚検診」 ～ きこえとことばのセンター 飯塚 知之 研究補助員

【時 間】 1時間30分

【参加者の感想】

(富士圏域)

- ・つなぐべき機関もわかり、とても有意義な時間となりました。
- ・赤ちゃん訪問の時、新生児聴覚スクリーニング検査の実施の有無は確認しますが、その後のことや里帰り出産された方の検査受検の有無までは確認できなかったため、これからは確認して適切なフォローができるように頑張りたいです。



富士圏域研修会



中部圏域研修会



浜松市研修会

(中部圏域)

- ・早期発見、早期療育が大切ということを知っていましたが、今回根拠を学ぶことができて良かったです。今後の母子との関わりの際に生かしていきたいと思います。
- ・県や中部管内のデータが示されてよかった。参考になりました。
- ・受診を勧めるだけでなく、詳しい検査のできる医療機関で受診することが大事だと分かりました。早期からの介入では、予後も良いことが分かり、勉強になりました。

(浜松市)

- ・新スクリーパー児で養育の問題があり、精密につながっていないケースがあり、受診勧奨していきたいと思った。
- ・人工内耳を早く入れれば、言語の獲得や学校も普通級を選択することができるので、早期に手術できると良いと思っていたが、保護者目線の実際やその支援について考えることができた。ケースによって選択も良い方法も様々なので、そのようなケースがあれば一緒に考えていきたいと思った。
- ・赤ちゃん訪問、1才6カ月健診等でより一層説明できる学びとなりました。
- ・関わっている子がリファー判定を受けていたので、参加しました。きちんとルートができていて、相談ものところがあると知り、安心しました。
- ・赤ちゃんのサイトメガロ感染などで聴覚検査がリファーの子がいるので、お母さんの不安軽減のために情報を伝えていきたいと思いました。
- ・早期発見の必要性、重要性が非常によくわかりました。身近に相談窓口があるのは本当に心強いと思います。

難聴児家族交流会「きこえのお部屋」

「概要」 令和3年度も厚生労働省「聴覚障害児支援対策中核モデル事業 3. 家族支援」計画を基に、家族同士の交流の場を設け、難聴児の保護者が孤立しないように、不安軽減及び知識・技術の習得、児の言語能力・社会的コミュニケーション能力育成のための適切な相談・指導を行う。

「対象者」 静岡県内に在住する難聴の診断を受けた又は疑いがある乳幼児（0～3歳）とその保護者。

「利用状況」

年度	開催場所	開催回数	参加者数
令和3年度	浜松市内会場（あいホール・東部保健福祉センター） 沼津市内会場（サンウェル沼津）と沼津市立病院	9回 (online開催1回含む)	14組

「担当者」 静岡県乳幼児聴覚支援センター言語聴覚士3人をはじめピアノ演奏担当者や、病院言語聴覚士1人（非常勤）で実施。

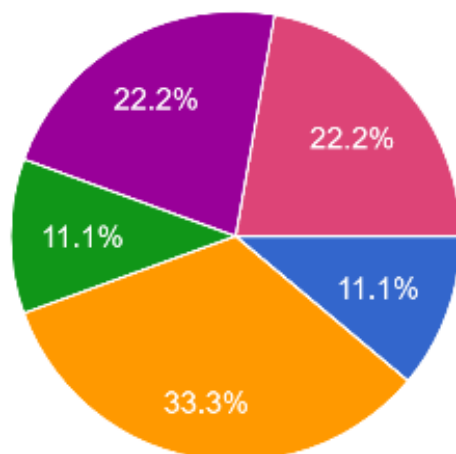
「主な実施内容」

- ・0-3歳の未就園児向けに、わらべ歌遊びや、絵本をモチーフにしたパネルシアターなどを実施しました。
- ・親子ともに楽しむ時間を通して、児との関わり方のモデルを言語聴覚士が提示しました。
- ・保護者が互いに、好きな絵本の紹介や日常生活の疑問などを話し合い、交流を図りました。
- ・コロナ禍により実施困難な月はオンラインで個別に親子教室を開催しました。また日常的な親子のかかわりが充実できるように、定期的に「わらべ歌遊び」の動画配信を行い、センター言語聴覚士とも繋がりやすいように取り組みました。
- ・開催後にアンケートを配布し、会の内容や頻度などについては保護者の要望を取り入れるように努めました。

《アンケート結果（一部）》

4. きこえのお部屋を何で知りましたか？

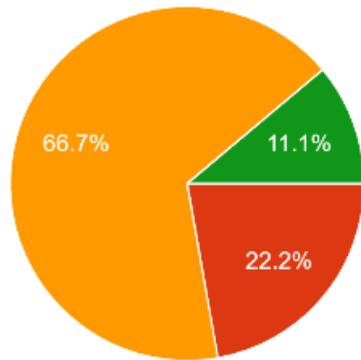
9件の回答



- 静岡乳幼児聴覚支援センターのホームページ
- きこえのお部屋の広告
- 友だちの紹介
- 病院（医師・言語聴覚士など）
- 聴覚特別支援学校（聾学校）
- 保健センターや保健師
- 静岡乳幼児聴覚支援センター職員（浜松・沼津のきこえの相談室職員）

5. 「きこえのお部屋」に申し込んだ理由として最もあてはまるものをひとつお選びください。

9件の回答



- 親子で楽しめる遊びができるから
- 子どもへの関わり方について知りたいから
- 他の保護者との会話や情報交換の時間があるから
- スタッフへの個別相談がしたいから
- 特になし

〈開催風景〉



ご自宅とつながっています

第16回 静岡県乳幼児難聴研究会

令和3年8月28日(土) 静岡音楽館 AOI 7階講堂にて開催予定でしたが、コロナウイルスまん延防止等重点措置に伴いオンラインで開催し、医療、保健福祉、教育、行政等124名の参加がありました。

【第一部】15:00～16:40 座長：中西 啓 (浜松医科大学附属病院)

1. 静岡県の令和1年度の新生児聴覚スクリーニングの報告 15:00～15:20
日本耳鼻咽喉科学会静岡地方部会 福祉医療委員長 植田 宏
2. 各精密聴力検査機関の精査現状について 15:20～16:10
沼津市立病院、静岡県立総合病院、聖隷浜松病院 浜松医科大学病院、静岡県立こども病院 担当医
3. 令和2年度 聴覚障害児支援中核機能モデル事業 進捗報告 16:10～16:25
静岡県立総合病院 きこえとことばのセンター長 高木 明
4. 令和3年度難聴児等支援関連事業 について 16:25～16:40
静岡県健康福祉部こども未来局こども家庭課 石野 一樹

----- 休憩 10分 (16:40～16:50) -----

【第二部】16:50～17:50 座長：高木 明 (きこえとことばのセンター長)

<専門医共通講習>

「ことばを伸ばす絵本の力」

NTT科学基礎研究所 上席研究員 小林 哲生

(プログラム)

(オンライン共有画面)

こどもの読書推進を支援

NTT

NTTならではの研究成果やIT技術を活用し
子どもの読書推進に貢献

1~2歳
親子の読み聞かせ頻度UP

ちいぐえほん

ひたりえ
新たな本との出会い

8~9歳
文章読解力
算数文章題
読書への意欲

ポジティブな影響

令和版
読書数推定テスト

Copyright 2021 NTT CORPORATION

54

静岡県乳幼児聴覚支援協議会（オンライン開催）

令和3年度

令和3年9月1日（水）静岡県立総合病院 先端医学棟5階 打合せ室

1 令和2年度の事業報告および令和3年度の新事業について

（静岡県健康福祉部こども家庭課より）

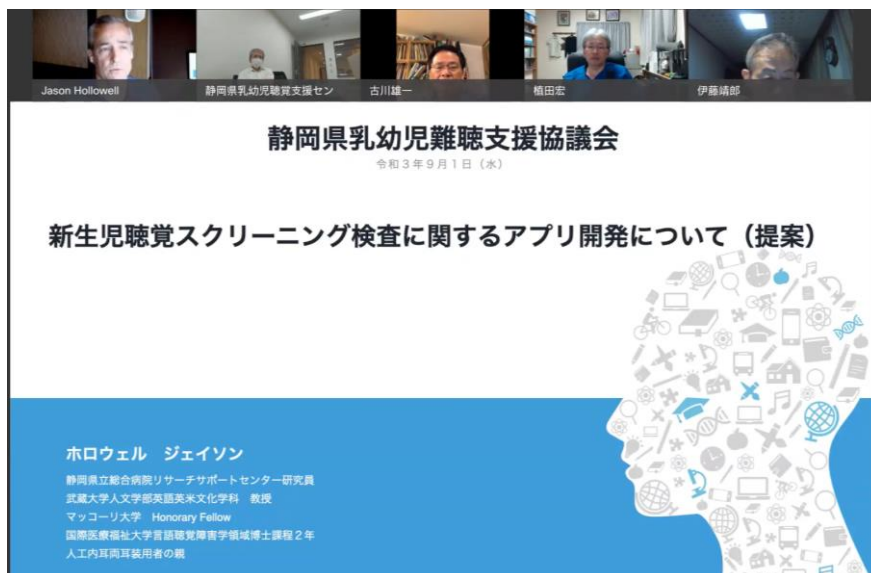
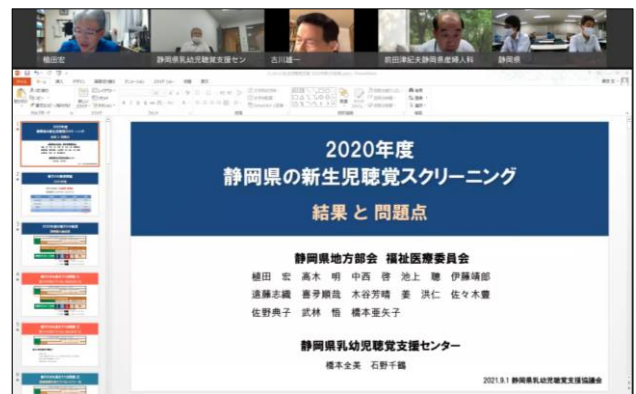
2 令和2年度新生児聴覚検査に関する実態調査結果について（報告）

（日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会 福祉医療委員長 植田宏 医師より）

3 新生児聴覚スクリーニング検査に関するアプリ開発について（試案）

（静岡県立総合病院リサーチサポートセンター ホロウェル研究員より）

【参加者】 静岡県産婦人科医会理事・会長・事務局、静岡県小児科医会会長・委員長、
日本耳鼻咽喉科学会静岡県地方部会常任理事・福祉医療委員長、静岡県助産師会会長、
静岡県言語聴覚士会会長、静岡県教育委員会特別支援教育課、静岡県健康福祉部障害福祉課・
こども家庭課、静岡県乳幼児聴覚支援センター



聴覚障害児支援対策委員会

開催日		議事内容
令和3年 10月7日	第1回	1. 参加者自己紹介 2. 日本のインクルージョンと就学支援委員会 3. 令和3年度厚生労働省「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」および「静岡県聴覚障害児支援体制整備事業」について 4. 静岡聴覚特別支援学校への言語聴覚士派遣事業について 5. 難聴児が通う聴覚特別支援学級および通級指導教室への巡回訪問について
令和4年 1月27日	第2回	1. 静岡県下各市町教育員会への「就学支援委員会の現状調査」報告 2. 令和3年度「教員向け聴覚障害研修会」の報告 3. 今後の聴覚障害児支援への取り組みについて ～静岡県教育委員会、静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会 文科省事業 乳幼児教育相談マネージャー



第1回

【参加機関名】

- ・日本耳鼻咽喉科学会地方部会
- ・静岡県教育委員会
- ・静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会
- ・静岡聴覚特別支援学校 学校長
- ・文科省事業 乳幼児教育相談マネージャー
- ・県立総合病院きこえとことばのセンター長

第2回

オンライン「就学支援委員会の現状調査報告」

静岡県立総合病院
きこえとことばのセンター
高木 明 センター長



視 察

・聴覚障害児支援中核支援機能モデル事業に係る厚生労働省 視察

令和3年10月20日(水)

1. 『静岡県における難聴支援について』

静岡県立総合病院内 静岡県乳幼児聴覚支援センター

高木 明 センター長

2. きこえとことばのセンター視察



・難聴児支援に関する岐阜県関係者 視察

令和3年10月22日(金)

「視察者」 岐阜県健康福祉部障害福祉課、岐阜大学招聘教員、

岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科医師、言語聴覚士、保健師 (計6名)

「視察目的」 先進県の取り組みの実際を知り、今後の本県の取り組みに活かす



新生児聴覚検査機器 精度管理研修会

精度管理 WEB 研修会 令和3年11月3日(水)

昨年度(2020年)の厚生労働省「新生児聴覚検査機器整備事業」による自動 ABR 機器購入助成を受けて、県下産科施設に自動 ABR 機器が導入されました。今年度は精度の高い聴覚スクリーニング検査を実施していただくための WEB 研修会を開催しました。医師、助産師の方々をはじめ 38 名の参加がありました。

新規導入施設をはじめ、実際の検査上の課題を事前に集約し、当日は質疑応答の時間を設け、検査方法や検査機器の取り扱いなどについての理解を深めていただき、検査上の不安を軽減し、検査の質を上げるための情報を共有し、各施設での検査体制の強化につなげました。

後日、研修会当日の録画配信や収録した DVD を発送し、各関係施設への情報提供をするとともに、閲覧後のアンケート調査を実施、集計結果と質疑応答について、回答者へフィードバックしました。

(下記のグラフ参照)

新生児聴覚検査機器 「精度管理 WEB 研修会」

日時：令和3年11月3日(水・祝日)

10時30分～12時 (WEB 配信)

参加対象：静岡県内分娩産科機関・産婦人科医・小児科医・市町保健師

1. 静岡県新生児聴覚スクリーニング検査実施調査からの報告
静岡県立総合病院きこえことばのセンター長 高木明
2. 新生児聴覚スクリーニング検査に関するアプリ開発について
きこえことばのセンター ジェイソン・ホロウェル 研究員

■事前申し込み：QRコードか下記 URL から10/22(金)までに登録ください。
〆切を過ぎた後の参加をご希望される方は下記までご連絡下さい。



■受理後登録いただいたメールアドレスに確認メール・Zoom ウェビナー入室の URL が送付されます。申し込み後に受理メールが届かない場合は、下記までご連絡ください。

■研修会で聞きたい質問事項が、フォーム内の文字数制限以上の場合は、下記アドレスまでメールで送付ください。

○ 問い合わせ先：静岡県乳幼児聴覚支援センター

Mail: gh-nyuyoji-asc@i.shizuoka-pho.jp

(静岡県立総合病院内) 代表電話：054(247)6111

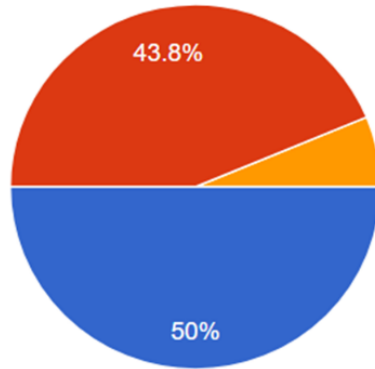
ホームページ URL: <https://shizuoka-kikoessupport.jp/>



閲覧後のアンケート調査結果(一部)

新スク検査時に問題はありますか？

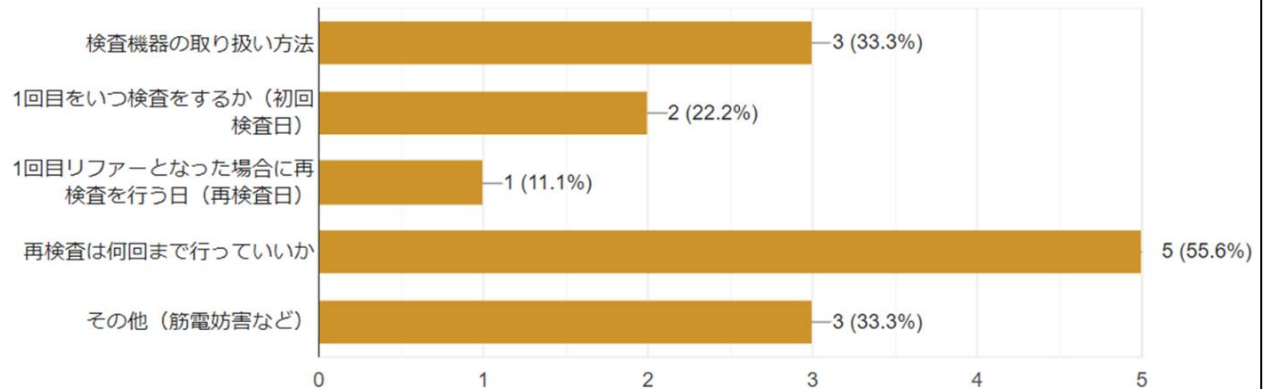
16件の回答



- ある
- ない
- 筋電妨害が多かったり、リファが続いたりした時期があった。メーカーさんにみてもらいコツを覚えてもらった。スタッフによって技能の差がまだある。

「ある」とお答えいただいた方は、どんな問題点があるのか教えてください。(複数可)

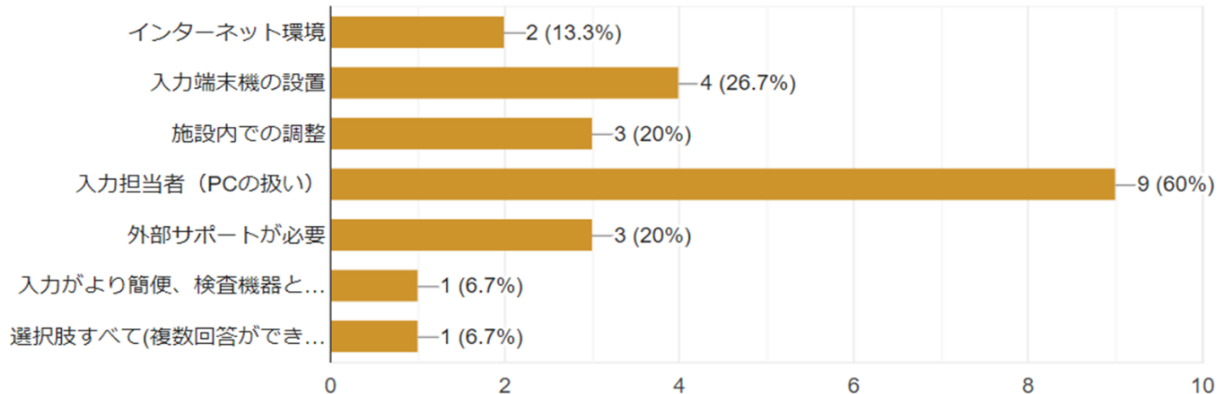
9件の回答



新生児聴覚スクリーニング検査 アプリ導入についての回答

貴施設へ導入するための課題(複数回答可)

15件の回答



(1) 新生児聴覚スクリーニング検査の受診啓発及び要精密検査児の支援

業務内容	件数	備考
ア 啓発事業（リーフレット作成及び配布） ・新生児聴覚スクリーニング検査リーフレット ・refer後のリーフレット ・一側性難聴 リーフレット ・きこえとことばのセンターホームページ改変	29,500部配布 300部作成 500部作成	県内産科医療機関 23か所 助産院 15か所 県内35市町保健センター 精密聴力検査機関 4か所
イ 要精密検査児及び保護者への個別支援 （電話相談及び面談相談）	54件	乳幼児聴覚支援センター
ウ 精密聴力検査機関との連絡調整	57件	refer児の精査結果把握、受診依頼
エ 検査受診児及び要精密検査児の情報集約 ・令和2年度新生児聴覚スクリーニング検査実態調査 ・1歳6ヶ月および3歳児聴覚検診調査・集計 ・市町就学支援委員会調査	3件	
オ 市町保健師への助言及び技術援助 ・市町保健師向け研修会 ・refer児への対応依頼・技術支援	31件	市町保健師向け研修会 3件 refer児への対応依頼・技術支援 28件

(2) 難聴児及び疑いのある児の保護者への支援

業務内容	件数	備考
ア 難聴児（人工内耳装用児等）の親子支援 ・きこえのお部屋（動画配信2回を含む） ・個別相談	8回 22名 （延数）	静岡県乳幼児聴覚支援センター、あいホール、サンウェル沼津、浜松市東部保健福祉センター、沼津市立病院
イ 「きこえの手帳」作成・配布	130部作成	精密聴力検査機関5か所へ配布 耳鼻咽喉科開業医 1か所

(3) 技術支援に関する研修会、相談会等の開催

業務内容	件数	備考
ア 検討会・研修会・連絡会・講演会	7件	聴覚障害児を考える医療と保健福祉と教育の会、月例運営委員会、聴覚障害児支援対策委員会、オンラインセミナー、乳幼児難聴研究会、精度管理研修会、教員向け研修会等

(4) 補聴援助システム貸与事業

業務内容	件数	備考
貸与児童数	15名	内 新規9名（中部4名、西部5名）
補聴援助システム貸与事業リーフレット作成	220部作成	

(5) その他 「R3年度版 静岡県乳幼児聴覚支援センター年報」 新規作成（100部）
 「新生児聴覚スクリーニング検査マニュアル」 増刷（300部）

静岡県乳幼児聴覚支援センター

令和3年度 年報

作成	令和4年3月	
監修	静岡県乳幼児聴覚支援センター 静岡県立総合病院きこえとことばのセンター	高木 明 センター長
編集	静岡県乳幼児聴覚支援センター 静岡県立総合病院 静岡県立総合病院きこえとことばのセンター	橋本全美 言語聴覚士 増原智香 言語聴覚士 滝本智子 言語聴覚士 金丸雅子 事務局 伊藤嘉彦 言語聴覚士 飯塚知之 研究補助員

〒420-8527

静岡市葵区北安東4丁目27-1 静岡県立総合病院内

Tel.054-247-6168 fax054-247-6171

E:mail gh-nyuyoji-asc@i.shizuoka-pho.jp